

熊 事 研 会 報

第 8 4 号

平成 1 8 年 1 0 月 2 日

発 行 人 熊本県学校事務研究協議会
会 長 川上 安生

編 集 代 表 研究部長 藤本 久美子
〒869-2613 阿蘇市一の宮町中通2177
0967(22)0199 Fa 0967(22)3792

< 今回の主な内容 >

- ・ 会長挨拶
- ・ 熊本県事務研究大会
- ・ 第 2 回理事会だより
- ・ 全事研講習会復講
- ・ 他県の研究大会案内
- ・ 地区研紹介
(天草地区)
- ・ 広報班より



「友よ、熱く語り合おう、これからの学校事務を！」

～ 激動の時代に問われる学校事務の在り方 ～

熊本県学校事務研究協議会 会長 川上 安生 (熊本市立東部中学校)



何かにつけ秋の気配を感じる今日この頃ですが、会員の皆様方におかれましては、益々ご清栄のことと存じます。

さて、早いもので私が会長に選出されてから、半年が過ぎようとしております。その間、7月26日には、今年度から組織加盟した全事研の総会(於横浜市)に、熊本支部長として、今坂文枝事務局長(=評議員)とともに初めて参加してまいりました。その総会の席上で、熊本県は全事研の廣田正子会長から新支部として紹介され、私が一言ご挨拶を申し上げましたが、全国の方々から温かい歓迎の拍手を受け大変嬉しく思いました。また、翌27日からは全事研大会神奈川大会に参加しましたが、私にとっては、十数年ぶりの全事研大会参加でした。しかし、今の全事研大会は、以前の私のイメージからは一変していました。昔は、どこか年一回の「お祭りのな雰囲気」もあったのですが、今はそのような雰囲気はなく、参加者の表情の真剣さ、大会運営の見事さ、研究発表の内容のレベルの高さ、情報量の多さなどに圧倒されてしまいました。今回の参加によって、私自身、新鮮なカルチャーショックを受け、大きく目を開かされたことは大きな収穫であったと思います。

なお、今後の全事研大会の開催予定は、平成19年が愛知県(名古屋大会)、平成20年は福島県(=全事研40周年記念大会)、そして平成21年は福岡県となっております。ちなみに、3年後に開催予定の福岡大会は、宮崎大会(平成3年)に次いで、九州では2回目の全事研大会となります。

従って、先日(9月8日)に熊本市で開催されました九州各県事務研役員研修会(熊本、福岡、佐賀、長崎、宮崎、鹿児島、沖縄)の席上でも、3年後の福岡大会のことが話題となり、福岡県から九州各県に研究発表や参加体勢についての協力依頼がありました。そして、これについては九州各県は、以前の宮崎大会の時のように、「同じ全事研の仲間」として一致して、福岡大会成功のために今後、支援、協力体制を構築していくことが確認されました。

ところで、今年も、いよいよ熊本県学校事務研究大会が開催される時期が迫ってまいりました。二学期になって、学校現場の仕事もいろいろと忙しくなってきた中で、県大会の準備に取り組んでおられる役員、発表者、各運営担当者の方々のお働き、ご苦労に対しまして深く感謝申し上げたいと思います。

さて、現在、ご承知のように学校教育現場は、私たちが経験したことがない激動の時代の真っ只中にあり、恐らく数年の内に学校事務も否応なく激変していくことが予想されます。また今年度からは、学校教育や学校事務に対しても本格的に評価制度が導入され始めました。従って、今年の第32回県事務研大会では、大会テーマを「変革の時代に対応する学校事務の創造」とさせていただきます。そして、10月25日の大会第一日目は、まず文部科学省の行政説明、熊本県教育委員会から県教育重点施策についての行政説明、そのあと全事研からの活動報告、最後に研究部からの研究発表として「今後の研究の方向性」について提案がなされる予定です。

それから、大会第2日目(26日)には一日目の行政説明や研究発表等を踏まえながら、5つの分科会、分散会が行われます。第1分科会「学校経営と学校事務」は、第1分散会「学校事務の共同実施」と第2分散会「学校事務職員の職務と法整備」とに分かれ、学校事務の共同実施や職務標準、人事評価制度といったキーワードを中心に研究発表が行われます。また、第2分科会「教育条件の整備」は、昨今の町村合併、学校の統廃合問題を通して学校事務役割、在り方を探り、第3分科会「事務改善」では、パソコンを活用した事務改善の取り組みなどがレポートされる予定です。

なお、今年は、第4分科会として、今、話題の「学校組織マネジメント」の研修のための特別部会（演習も含む）を設定しました。これは、必ずこれからの学校評価や事務部経営などに大変役に立つ研修になるだろうと確信しております。

以上の二日間の県大会を通して、県下600名の会員の皆様が一堂に会し、親交を深めながら、これからの学校教育、学校事務の在り方、学校事務のグランドデザインについて、お互いの夢（ビジョン）を熱く語り合い、そして私たち「学校事務職員の心意気」を内外に広くアピールしていきたいものです。そして、そこから私たちの「明日への活力」を生み出すことができれば最高だと思います。

最後になりましたが、第32回県事研大会が素晴らしい大会になりますよう会員の皆様と共に祈念しまして、私のご挨拶とさせていただきます。では、県大会で元気にお会いしましょう！

（平成18年9月14日 記）



第32回熊本県学校事務研究大会について 分科会会場と助言者・講師が決定しました！

第1分科会「学校経営と学校事務」

第1分散会「学校事務の共同実施」 分科会場 パレアホール1

- 1 球磨村学校事務共同実施の「研究と実践」（球人）
- 2 一の宮の共同実施～誰でもできる？やさしい共同実施～（阿蘇）

助言者 福岡県公立小中学校学校事務研究会 副会長

福岡市立住吉小学校 事務主査 足立 慎一 氏

第2分散会「学校事務職員の職務と法整備」 分科会場 鶴屋ホール2

- 1 学校事務職員をめぐる法整備～さまざまな改革と私たちの未来～（熊本）
- 2 人事評価制度と事務職員の職務～全体研究会発表レポートより～（熊事研研究部）

助言者 鹿児島県小中学校学校事務職員研究会 会長

霧島市立霧島中学校 主査 中村 敏喜 氏

第2分科会「教育条件整備」

分科会場 鶴屋カネシヨウザン

- 1 町村合併と学校統合～スムーズな学校統合を進めるために～（上益城）
- 2 天草市町合併の取り組み～教育条件整備はまず学校事務の条件整備から～（天草）

助言者 熊本県小中学校長会 法制委員長

芦北町立湯浦中学校 校長 本山 嵩 氏

第3分科会「事務改善」

分科会場 鶴屋ホール1

- 1 山鹿市備品管理システム
～パソコンによる備品管理・台帳作成そして備品の有効活用を目指して～（鹿本）
- 2 事務改善へのそれぞれの研究活動（荒玉）

助言者 佐賀県公立小中学校学校事務研究会 副会長

玄海町立値賀中学校 事務長 金林 克哉 氏

第4分科会「特別部会」

分科会場 パレア会議室1

- 1 演習「学校組織マネジメント」～経営スタッフとしての事務職員を目指して～

講師 宮崎県小林市立小林小学校 事務主幹 萩原 重憲 氏



第2回理事会だより

平成 18.9.15 (金)
於：県民交流館パレア
事務局長 今坂 文枝

秋らしくさわやかな季節になりました。会員の皆様にはお元気でご活躍のことと存じます。さて今年度第2回目の理事会を15日に開催しました。10月25日(水)～26日(木)に、第32回熊本県学校事務研究大会が開催されますので、県大会に関する内容が主なものでした。9時30分から11時30分まで理事、事務局、研究部の全員が一同に会して、県大会までの日程や、当日の準備等に関する話を話し合いました。12時30分から14時20分まで、理事会が開催されました。14時30分からは第2回分科会運営会議がもたれ、会議の連続で忙しい一日でした。理事会では総会等について、また、県大会当日の役割分担等についてなど、いくつかの協議事項について話し合われました。以下、議事の概要についてお知らせします。

1 総会等について

- (1) 研究大会役割分担について
- (2) ステージ設営配置図

例年の大会でも、大会行事時から前方の席がなかなか埋まらずに困っていましたが、今年も10時40分から文部科学省の行政説明、14時15分から熊本県学校人事課の「熊本県教育重点施策について」という演題で行政説明、15時30分から全事研活動報告が予定されております。昨年同様今年も、各地区から6～7名お願いして、前方の席を埋めていただくことになりました。会員の皆様方、各地区でお声がかかりましたときは、こころよくご協力いただきますようお願いいたします。

- (3) 大会行事・総会行事について

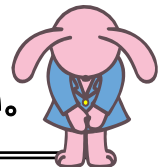
昨年の総会時に、開会式等における扉の開閉に関するご意見をいただきました。対応についてあらためて確認がありました。ご理解とご協力をお願いします。

大会1日目(10月25日)

9:20～9:50が受付になります。

9:55までの着席にご協力ください。

開会後は途中での入場はできませんのでご承知おきください。



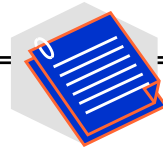
全事研活動報告の講師が下記のとおり決定し連絡がありました。

「全事研活動報告」について

講師 全国公立小中学校事務職員研究会副会長

木村 信哉(きむら しんや)氏 神戸市立中央小学校

内容 全国の情勢をふまえた全事研活動報告



- (4) 当日のタイムスケジュール(理事)

2 役割分担等について(事務局)

- (1) 当日のタイムスケジュール
- (2) 具体的な業務内容とタイムスケジュール

3 その他の協議事項

- (1) 標準的職務通知に向けての取組について
- (2) 会長選考委員の選考について(理事会終了後に第1回選考委員会を開催しました。)
- (3) 来年度の研究大会日程
- (4) 来年度の研究大会会場について

4 その他



全国学校事務研究協議会
支部研修担当者講習会・全事研役員等研修会復講
 熊事研研究部 荒尾市立桜山小学校 藤井優子



平成18年6月16日、熊事研会長の川上先生と二人で「全事研支部研修担当者講習会・全事研役員等研修会」に参加してきました。「何故藤井が・・・？」と思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、研究部の中から一人代表で参加をということだったので、「せっかくの機会なのだから、研究部に入ったことでもあるし勉強しなきゃ！」「たまには家事・育児を忘れて東京で羽をのばすぞ！」という2つの思いを持ちつつ、私が代表ということで参加させて頂きました。

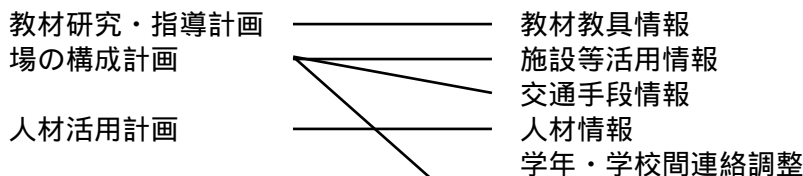
1 支部研修担当者講習会

「変わる組織・変わる授業」

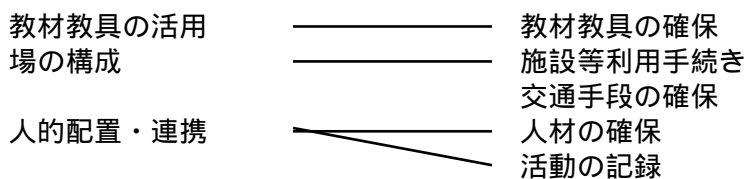
講師 宮崎県小林市立小林小学校事務主幹 萩原重憲氏
 (全事研学校組織マネジメント研修推進チーム 推進員)

まず、事務職員のミッションとは「環境づくり」であると述べられ、学校においては、指導部（授業づくり）と管理部（環境づくり）が連携・協働しているということ、さらにそれらを支援する新たな組織づくり「共同実施組織」の必要性について説明されました。指導部・管理部それぞれにおいて何をなすべきか、またそれを「共同実施組織」がどうつないでいくか、「計画段階」・「実施段階」・「評価段階」の3つに分けて、佐土原町・小林市の様子を交えながら説明されました。

最初の計画段階で必要となるのは「情報の収集・提供」です。計画と一口に言っても、教材研究・指導計画 場の構成計画 人材活用計画の3つに分けられます。それぞれの計画において、どんな情報提供が必要となるのかを示したのが、下記の図となります。



このように、単に横につながるだけでなく、交差するものだけということがおわかりになるとと思います。同じことが実施段階、評価段階にもいうことができ、実施段階においては、「効率的な予算執行」が求められます。（下図参照）



そして、評価段階においては、「情報の整理・発信」をどう整理して行うかが重要となります。

個人評価（児童生徒）、指導評価（教員）、指導計画改善

学校評価（外部）

情報の整理 教材教具、施設設備、訪問施設、外部人材

情報の公開 活動の記録の公開、地域への広報

最後に、「組織マネジメントは、人のつぶやきから生まれる」と述べられ、与えられた仕事＝事務の仕事というものではなく、日頃の業務の中で、職員とのコミュニケーションを図り、職員の声をどのように形にしていくか考えることが大事であるとのことでした。

萩原先生の7つの提言プラス1

- 外部講師活用支援・・・外部講師活用の充実を図ることができる
 - 校外学習運営支援・・・体験学習の充実を図ることができる
 - 教材教具情報提供・・・教材教具の充実を図ることができる
 - 児童生徒情報管理・・・情報の適正管理と事務の効率化を図ることができる
 - 施設設備の集中点検・・・学校安全をサポートできる
 - 諸公簿類の集中点検・・・給与管理の適正を期することができる
 - 学校集金の集中点検・・・集金業務の効率化を図ることができる
- (プラス1) 学校内外情報の収集・整理・発信・・・信頼される学校づくりを進めることができる
(事務室に情報が集まることによって、対応がすぐにできる)

2 全事研役員等研修会

「新しい学校評価・教職員評価とどう立ち向かうか」～学校組織マネジメントの観点から～
講師 宇都宮大学教育学部教授 藤井佐知子氏

講師の藤井先生は、昨年度の「各地域の中核となる事務職員の育成を目的とした研修」や「全事研セミナー」の講師をされており、平成18年3月27日に文部科学省から出された「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」の策定にも関わられた方です。

はじめに、学校評価ガイドライン策定の経緯・背景等について説明され、学校評価の方法としては「自己評価」・「外部評価」・「評価結果の説明・公表」が合体して初めて完結するものであり、自己評価を基にして外部評価を行い、さらにその結果に対して設置者が支援や条件整備を行うことで学校評価の範囲が広がったと述べられました。そして一定水準の教育の質を保障し、その向上を図る上での経営戦略（何が問題で、どのように改善するのか）、特に設置者がわかるような客観性が大事であり、S W O T分析等を利用した課題の絞り込みと評価計画が大事であると説明されました。

次に、目標管理についての説明があり、目標管理は学校にとっても教職員にとっても同じくらい重要で、「組織目標」と「個人目標」が連鎖することで十分に成果を上げることができ、学校総体として高まっていくことが組織マネジメントにつながると述べられました。

P (Plan) - D (Do) - C (Check) - A (Action) の組織マネジメントサイクルについては皆さんも聞かれたことがあると思いますが、特にP (Plan)の部分においては「この組織は何のためにあるのか？」という顧客状況分析をたくさん行い、D (Do)をやりながら修正をし、C (Check)においては「課題を析出するための評価」を行って、A (Action)へとらせん状にグレードアップしていくとのことでした。

また、適切な目標設定と評価計画がキーポイントとなり、P (Plan)の段階から「評価」を組み込んでおくこと、定量的把握（目標の達成度合いの測定に客観性を持たせる働き）と定性的把握（具体的な変化の様子）の2つを偏りなく行うことが重要であると述べられました。

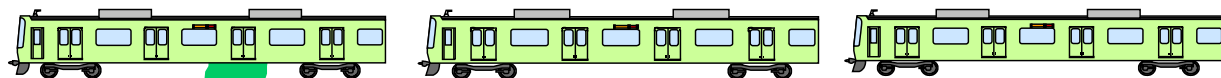
後半は、評価項目・評価基準作成演習シート（中期目標：地域・保護者・教職員から信頼される事務部となる）の作成を各自行い、近くの席の先生方（静岡県）とシートを見せ合って、研修を深めました。何を基準として評価をするのか、P (Plan)の段階から「評価」を組み込んでおくということが私にとっては難しくもありましたが、大変勉強になりました。

これまで、つくばの中堅事務職員研修や、全事研全国大会にも数回参加しましたが、このような全国規模の研修に参加する度に、日頃の業務にかまけて自己研鑽が後回しになっていることに気付かされます。事務職員＝事務処理屋だけに終わっては、学校に必要な職員として見てもらえないように思います。今年度より導入された人事評価制度等、日々の業務も様変わりする中で、職務標準表・事務部経営案・学校組織マネジメントなどをキーワードとして、積極的な取り組み及び外部への発信が必要だと感じました。



組織マネジメントは事務職員にとって重要な課題です。
支部研修担当者講習会講師の萩原重恵先生は県大会第4分科会でも講師を務められます。県大会前には是非ご一読ください。





～ 行ってみませんか？～
今年度の九州各県の学校事務研究大会のお知らせ

佐賀県公立小中学校学校事務研究大会

大会テーマ：明日の教育を担う学校事務を創造しよう

期日：10月12日（木）

場所：佐賀県立美術館ホール

記念講演：子どものために手をつなぐ

大阪大学大学院人間科学研究科 教授 小野田 正利 氏

シンポジウム：解決への道を探ろう～学校への要望・苦情・そして無理難題を考える～

*申込期間は終了しました

長崎県公立小中学校学校事務職員研究会セミナー

期日：11月17日（金）

場所：長崎原爆資料館ホール

研究報告：県下の共同実施の現況と課題

行政説明：学校事務職員を取り巻く情勢

申込締切：11月1日

宮崎県公立小中学校学校事務研究大会

研究テーマ：学校力を高める学校事務

期日：11月9日（木）～10日（金）

場所：宮崎県北諸県郡三股町立文化会館ほか
2日目全体研究会

全国公立小中学校学校事務職員研究会 前福会長 藤原 善郎 氏

宮崎県立図書館 総務・企画課長 日浦 昌一 氏

申込締切：10月5日



沖縄県公立小中学校学校事務職員研究大会

研究テーマ：学校事務のあるべき姿を求めて

期日：10月27日（金）

場所：名護市民会館 大ホール

講義1：情報公開と個人情報保護

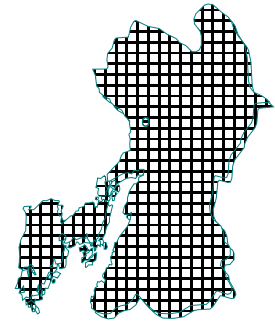
講義2：災害時の危機管理～不審者への対応の仕方～

申込



申込方法については各県のHPでご確認いただくか
各地区研究部員までお問い合わせ下さい。

地区研紹介



．．．．．今回は天草都市です．．．．．

1 地区の紹介

昭和の大合併以降2市13町だった天草都市は、平成16年3月31日付け4町が合併し上天草市に、平成18年3月27日付け2市8町が合併し天草市になり、単独自治体の苓北町と合わせて2市1町となりました。

天草諸島は、昭和41年9月24日に開通した天草五橋により陸続きになったとはいえ、熊本市内から県内でも（時間的に）最も遠距離にあります。また、離島地域もあり、定期船や海上タクシーも島内移動に欠かせない交通機関で、各地域から会議・研修等の主な会場となる天草市本渡地区への移動が1時間も要する地域もあるように、広範囲の地域で構成されています。

農業・漁業が主な産業ですが、雲仙天草国立公園の中にあつて、大小120余りの島々から成り、東海岸の多島海景観と天草下島の天草灘に面した西海岸には海食崖や海食洞が連なる景勝地も多く、島内一帯には隠れキリシタンにまつわる遺跡・史跡等があり観光産業も特徴のひとつです。

最近各地に温泉施設が開発され、週末には釣り客とともに湯治客も多くなっています。また、砂浜も多いので夏の海水浴など海のレジャーにも最適です。家族連れで是非天草においでください。

2 会の紹介

天草都市小中学校事務職員会は、本部役員（会長・副会長・事務局長・研修委員・監事）の12名と各地域の地区委員12名で構成され、事務局長・研修委員を中心に運営しており、会員は90名です。経験年数が少ない会員と臨時採用の会員が多いため研修活動も実務研修が多く、これからたくさん経験を積み、実践を重ねていき活躍が大いに期待される会員が多いのが特徴です。

主な行事は年1回開催の「天草都市学校事務研究大会」で、各地域での研究・研修成果を持ち寄り研修を深めています。年2回開催の新任事務職員研修会では個人の力量を高めるため本部役員を講師として、県費・市費等の実務研修を中心に実施しています。

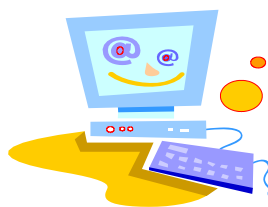
天草では、児童生徒のスポーツ・文化の振興及び教職員の研修を組織する教育団体として天草教育研究所があり、児童生徒の書写・絵画等の文化展や小・中学校音楽会、陸上・水泳の記録会等の開催等、研修部には教科等の部門別研修があり、学校事務部会は天草都市小中学校事務職員会と役員は兼ねていて「天草都市学校事務研究大会」を研究所主催と事務職員会主催で1年毎に交互に開催しています。

また、各地域には研究所の地域部会があり、研修部の教科別部会として学校事務部会があり、その地域会長と地区委員が中心となって研究・研修活動を推進しています。

平成18年度からは、2市1町の3地域部会となり、地域が広く、相互交流の移動に時間がかかるため事務職員会の地区組織（研究所の学校事務部会）としての活動形態をどのように発展させるかという課題もありますが、広域合併の天草市（旧2市8町単位）では、本渡支部等の運営形態があり、年4回の部門別研修会や、市費事務担当者会として月1回の代表者会と旧市町単位で月2回のプロック会議があり、他支部からの転入会員と受け入れ準備は整っていると思います。

観光とレジャーでも歓迎しますが、天草市でも歓迎します！





～熊事研ホームページについて～

熊事研では、様々な情報をホームページにより会員の皆様や全国の学校事務職員の方々へ向けて、随時、お知らせしています。

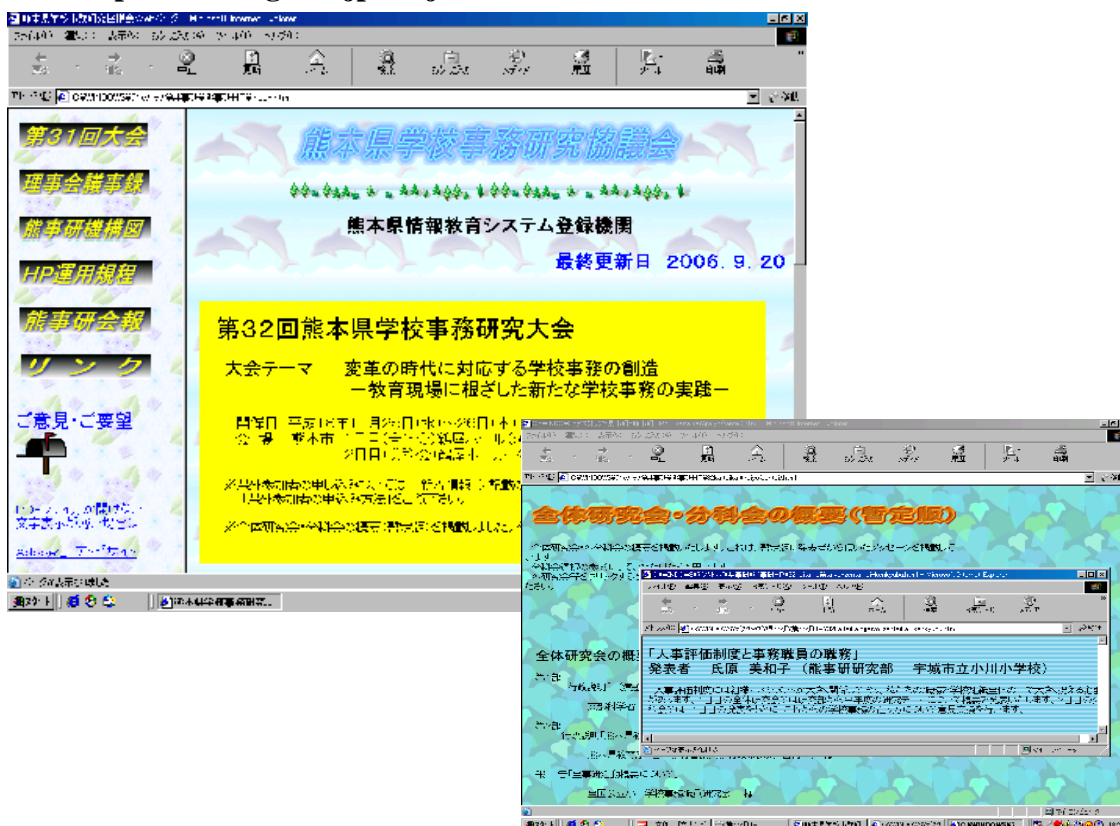
本年度全事研へ組織加盟をしましたので、全事研からの情報もタイムリーに掲載していく予定です。

URLは「<http://www.higo.ed.jp/ws/jimukenws/index.htm>」ですが、Yahooなどの検索サイトから「熊本県学校事務研究協議会」で検索してもヒットすると思います。

メインページは下に掲載したようなもので、県大会情報、理事会議事録、熊事研会報及び全事研からのお知らせなどを掲載しています。今、ホームページを開いていただくと、分科会の概要が掲載中です。会報では間に合わないお知らせや詳しい情報をいち早く皆様に提供できればと考えております。

また、各地区事務研ホームページへのリンクもあります。ぜひ「お気に入り」に追加しご覧いただけたらと思います。

<http://www.higo.ed.jp/ws/jimukenws/index.htm>



ホームページへのご意見・ご要望がありましたら、下記までご連絡ください。
ホームページからもメールが送信できます。



@熊事研研究部広報班アイデア受付係

〒868 - 0802 球磨郡水上村湯山1番地 水上中学校 福永高嗣 宛
FAX : 0966 - 44 - 0561

e-mail: jimukenws@edu-c.pref.kumamoto.jp

- 8 -